

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 5 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 27 年 12 月 24 日 (2015.12.24)

【公表番号】特表 2015-506448 (P2015-506448A)  
 【公表日】平成 27 年 3 月 2 日 (2015.3.2)  
 【年通号数】公開・登録公報 2015-014  
 【出願番号】特願 2014-554721 (P2014-554721)  
 【国際特許分類】

**F 1 6 B 37/04 (2006.01)**

**B 6 4 C 1/00 (2006.01)**

【F I】

F 1 6 B 37/04 A

B 6 4 C 1/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 11 月 2 日 (2015.11.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ゲージを有する二次支持構造体 (240、310、610、820、900、1220) に係合するナットプレート (340、700、810、1110、1230、1310) を備えるアセンブリであって、

前記ナットプレート (340、700、810、1110、1230、1310) は、内面がネジ切りされたボア (450、460、708、840、1140、1235) を有するボディ (410、820、1120) と、

前記二次支持構造体 (240、310、610、820、900、1220) の取付孔 (310、314、316、320、620、630、732、734) に係合し、前記ナットプレート (340、700、810、1110、1230、1310) の前記二次支持構造体 (240、310、610、820、900、1220) に沿った動きを抑制する少なくとも 1 つの位置決め突起部 (430、440、470、702、704、706、850、1170、1312) と、を含み、

前記ナットプレート (340、700、810、1110、1230、1310) はさらに、前記ナットプレート (340、700、810、1110、1230、1310) の前記二次支持構造体 (240、310、610、820、900、1220) から離れる動きを追加的に抑制するための追加抑制手段 (U、860、1150、1160、1314) を含む、アセンブリ。

【請求項 2】

前記二次支持構造体 (240、310、610、820、900、1220) はスパーバー (240、310、900) を含み；前記ナットプレート (340、700、810、1110、1230、1310) は取付ハードウェアを使用することなく抑制される、請求項 1 に記載のアセンブリ。

【請求項 3】

取付ハードウェア (740、840、850、1010、1020、1030、1240、1250) は、前記ナットプレート (340、700、810、1110、1230、1310) に締結される、請求項 1 又は 2 に記載のアセンブリ。

## 【請求項 4】

前記取付ハードウェア（740、840、850、1010、1020、1030、1240、1250）は、ワイヤバンドル（210、220、230）又は配管（232）を支持する、請求項3に記載のアセンブリ。

## 【請求項 5】

前記ボディ（410、820）は前記二次支持構造体（240、310、610、820、1220）に対する取付面（420、830）を有し、前記少なくとも1つの位置決め突起部（430、440、470、702、704、706、850、1170、1312）は第1及び第2のポスト（430、440、702、704）並びに固定部材（470、706）を含み、前記第1及び第2のポスト（430、440、702、704）は前記取付面（420、830）から延在し、スパナバー（240、310）を備える前記二次支持構造体（240、310、610、820、1220）のそれぞれの取付孔（310、314、316、320、620、630、732、734）を通り、前記固定部材（470、706）は、前記ポスト（430、440、702、704）の1つとランド（310、313、315、317、330、615、625、635）との間の空間を占め、さらに前記追加抑制手段（U、1314）は各ポスト（430、440、702、704）に逃げ溝部分（U）を含む、請求項1から4のいずれか一項に記載のアセンブリ。

## 【請求項 6】

前記ボア（450、460、708）は、前記ボア（450、460、708）が前記二次支持構造体（240、310、610、820、1220）の前記取付孔（310、314、316、320、620、630、732、734）のうちの1つと揃うように、前記第1及び第2のポスト（430、440、702、704）からある距離だけずらされている、請求項5に記載のアセンブリ。

## 【請求項 7】

第1及び第2のポスト（430、440、702、704）の前記ランド（310、313、315、317、330、615、625、635）に当接している部分は中実で、断面は楕円形である、請求項5又は6に記載のアセンブリ。

## 【請求項 8】

前記固定部材（470、706）は弾性がありヒンジでボディ（410、820）に連結されており、これにより前記固定部材（470、706）は後退可能になっている、請求項5から7のいずれか一項に記載のアセンブリ。

## 【請求項 9】

前記第1及び第2のポスト（430、440、702、704）の各々は拡大されたキャップ（435、445）で終端し、前記キャップ及び前記取付面（420、830）は前記二次支持構造体（240、310、610、820、1220）のゲージよりも狭い前記逃げ溝部分（U）を形成し、前記ナットプレート（340、700、1230、1310）が押し込まれると、前記拡大されたキャップ（435、445）は前記ランド（310、313、315、317、330、615、625、635）のうちの1つに嵌り、前記二次支持構造体（240、310、610、820、1220）と係合する、請求項5から8のいずれか一項に記載のアセンブリ。

## 【請求項 10】

前記スパナバー（900）はリターンフランジ（902）を有し、前記追加抑制手段（U、860、870、1150、1160、1314）は、前記ボディ（820、1120）に対して片持ち支持されて前記ボディ（820、1120）から外へ向かって延在する第1及び第2の弾性フィンガータブ（860、1150）を含み、前記タブは前記リターンフランジ（902）に解放可能に係合する、請求項1から4のいずれか一項に記載のアセンブリ。

## 【請求項 11】

前記追加抑制手段（U、860、870、1150、1160、1314）は、前記弾

性フィンガータブ（８６０）から対向する前記ボディ（８２０）に取り付けられたバー（８７０）をさらに含み、前記バー（８７０）は前記取付面（８３０）を横断して延在し、前記バー（８７０）の対向端部は前記リターンフランジ（９０２）の下に配置される、請求項１０に記載のアセンブリ。

【請求項 １２】

前記追加抑制手段（Ｕ、８６０、８７０、１１５０、１１６０、１３１４）は、前記ボディ（１１２０）に対して片持ち支持されて前記ボディ（１１２０）の対向側面から外へ向かって延在する第３及び第４の弾性フィンガータブ（１１６０）をさらに含み、前記第３及び第４の弾性フィンガータブ（１１６０）は前記リターンフランジ（９０２）に解放可能に係合する、請求項１０に記載のアセンブリ。